

○ 日時：令和元年7月5日（金）15：00～16：30

○ 場所：本校会議室

○ 出席者（敬称略）

＜運営協議会委員＞

木戸 秀樹（堺市立若松台中学校校長）、中村 俊一（立志館ゼミナール館長）

池内 博一（追手門学院大学 准教授）、田村 祥子（泉北高校 PTA 会長）

中西 美江（泉北高校後援会 会長）

〔綿野 哲（大阪府立大学 工学域長）氏は公務により欠席〕

1. 校長挨拶

・自己紹介

・学校経営計画、学校評価および今後の泉北高校のマネジメントについて、委員の皆様のご意見を聞きたい。

2. 出席者自己紹介および挨拶

3. 事務局紹介

4. 協議事項

① 平成30年度学校評価及び平成31年度学校経営計画について

＜平成30年度学校評価について＞

○ 昨年度2月の学校運営協議会時から変更があったデータ等の報告

- ・ 第3回学校運営協議会からの意見を追記
- ・ 保護者アンケートの回収を行うこと
- ・ 海外留学生の数増
- ・ 英検2級取得の数最終値
- ・ 2年次のGTECの平均点
- ・ 公募推薦の合格者は最終9名
- ・ 国公立大学合格者26名／関関同立大学合格者124名（H31/4/10時点で128名）
- ・ メールマガジンやHP名の数値更新
- ・ 遅刻者数は第3回以降増えたが昨年度の20%減

＜平成31年度学校経営計画について＞

○ PDCAに基づいて平成31年度の計画を策定。主な変更点や目標の確認

- ・ 台湾スタディツアーや語学研修を充実
- ・ 3-1（具体的な取組）海外修学旅行を実施
- ・ 遅刻者数の減少
- ・ ポートフォリオの管理方法について
- ・ 授業改善について
- ・ 学校教育自己診断の教員の提出を100%
- ・ 授業アンケート（興味関心・知識技能）の目標達成
- ・ 家庭等の学習時間10時間以上の増加
- ・ SMSや手帳を定着させ、スケジュール管理の基セルフマネジメントを求める
- ・ 英検全員受験

- ・ 大学合格者数の増加
- ・ 部活動の入部率の増加
- ・ 生徒会行事の肯定的参加率の増加
- ・ 働き方改革時差出勤の増加

【各運営協議会委員からのご意見】

- ・ トビタテ！留学 JAPAN の人数だけが乖離しているが、それ以外はほぼ達成している。
- ・ 遅刻数が多い。
- ・ 遅刻の目標値についての評価が異なっているのではないか？
- ・ 英検の合格者の総数について、学年ごとの目標値を設定した方が到達目標もたてやすい。
- ・ 自主的で深い学びなど様々なキーワードがあるがどのように学んだかが大切。
泉北高校の取組は1歩も2歩も進んでいる。高校は進学率を多く提示するが、保護者はその先の将来を見ている。高校からの出口だけをフォーカスするのではなく、その先に何かがあるか、自分たちが幸せになるために取り組んでいるということが理解できるとよい。
卒業生（先輩）たちは、大学卒業後何をしているのかなどがわかるとよい。
- ・ 進学保障について、進学を希望していた生徒は何%なのか。めざしていた数値と達成した数値の両方を考えたほうがよい。
- ・ 総合科学科課題研究を英語で発表することは可能か。

② 今年度の主な取組みについて

○ SSH の取組みについて

- ・ 事業計画、研究開発の内容（概要）
- ・ 課題研究マニュアル（改訂版）の作成
- ・ 高大連携や卒業生との連携（SSONET）
- ・ 地域の理科学研究の中核を担う
- ・ 泉北こども科学教室、こども科学フェスティバルの実施
- ・ グローバル人材の育成（海外研修や国内研修）

○ SGH の取組みについて

- ・ SGH 事業が今年度で終了
- ・ 社会福祉協議会や地域と連携した取組みを進めていく予定

○ 進路指導について

- ・ 定員厳格化による合格者数の減少
- ・ 指定校推薦の減少予想
- ・ 49 期生の進路希望（指定校希望 46 名）
- ・ キャリアサポート

5. その他 なし

6. 事務連絡

○ 第2回および第3回学校運営協議会の日程について

- ・ 第2回 令和元年10月25日（金） 14：30～16：00 （予定）
- ・ 第3回 令和2年 2月 7日（金） 15：45～17：00 （予定）